



オフィシャルツアー

～信濃大町の歴史・文化・自然そして、アートを巡るたび～
新作を中心に、ツアーガイドの案内とともに巡り、公式レストランで信濃大町ならではの食事を楽しむ1日満喫ツアーです。

- 催行日：9月14日～11月4日 水曜運休
 - 料金：12,000円(昼食・ガイド付)＊別途「作品鑑賞パスポート」の購入が必要
 - 発着場所：長野駅発9:00/長野駅着16:30頃
- ＊市街地エリアの作品鑑賞や宿泊をされる方は、
信濃大町駅前インフォメーションセンターにて下車・解散できます(15:30頃)。



詳細はこちら

アートバス

午前・午後の半日、3つのコースがあり、市街地エリア以外のほぼ全ての作品を巡ることができる、予約制の周遊バス。

- 運行日：9月13日～11月4日
- ＊午前便と午後便とも、水曜を除く毎日運行
- 料金：2,500円/各コース
- 発着場所：信濃大町駅前インフォメーションセンター



詳細はこちら

公式カフェ&レストラン YAMANBA



信濃大町という土地の風土が育んだ食文化と旬の食材を、お膳にふんだんに盛り込んで、YAMANBAガールズの皆さんのおもてなしでご提供します。アート巡りと合わせてお楽しみください。

- 会期中水曜休・要予約
- 料金：2,200円



詳細はこちら



オフィシャルグッズ

芸術祭のビジュアルディレクター皆川明およびミナペルホネンのデザインによるオフィシャルグッズ。普段使いにも活用できるアイテムが満載。お土産にもおすすめです。トートバッグ、カットソー(半袖、長袖)、手ぬぐい、他各インフォメーションセンター他で販売

公式ガイドブック

アーティストからの手紙のように作品紹介を中心に、大町市の見どころや芸術祭の巡り方などをコンパクトにまとめたガイドブック。北アルプスへのアート旅必携の一冊。
1,200円 全国書店等で販売



ボランティアサポーター

作品制作や会期中の運営など、一緒に芸術祭を盛り上げていただけるボランティアサポーターを募集中!



詳細はこちら



観光・食・宿泊

大町市の観光・食・宿泊情報は「信濃大町なび」をご覧ください。芸術祭にあわせて豊かな自然と長い歴史の中で育まれた文化を感じる信濃大町を巡ってみませんか。



信濃大町なび

北アルプス国際芸術祭2024 開催概要

2024年9月13日(金)～11月4日(月・祝) 会期中は水曜定休

鑑賞時間：9:30～16:30

開催地：長野県大町市

主催：北アルプス国際芸術祭実行委員会

名誉実行委員長：阿部守一(長野県知事)

実行委員長：牛越徹(大町市長)

総合ディレクター：北川フラム(アートディレクター)

ビジュアルディレクター：皆川明(デザイナー)

お問い合わせ：北アルプス国際芸術祭実行委員会事務局

TEL:0261-85-0133 FAX:0261-85-4133

Email:info@shinano-omachi.jp

https://shinano-omachi.jp



instagram



公式HP

アクセス

電車

- 東京駅 → 長野駅 北陸新幹線 約1時間20分
+ 長野駅 → 信濃大町駅 特急バス「雷鳥ライナー」約1時間
- 新宿駅 → 信濃大町駅 中央本線「特急あずさ」約4時間
(松本駅経由)
- 新大阪駅 → 信濃大町駅 東海道新幹線&中央本線「特急しなの」約4時間半
(名古屋駅&松本駅経由)

自動車

- 東京 → 大町市 中央&長野自動車道経由、
関越&上信越自動車道経由 約4時間
- 名古屋 → 大町市 東名&中央&長野自動車道経由 約3時間半
- 大阪 → 大町市 名神&中央&長野自動車道経由 約5時間

協賛

サントリー食品インターナショナル株式会社 長野トヨタ自動車株式会社
株式会社アサヒコ アルペンローゼ株式会社 エア・ウォーター株式会社 公益財団法人倉石地域振興財団栗田病院 株式会社こうそく 大北農業協同組合 立山黒部貫光株式会社
株式会社電算 東洋紡株式会社 株式会社トーエル ニチコン株式会社 富士電機パワーセミコンダクタ株式会社 マルコム株式会社 株式会社みずぎコーポレーション 株式会社レチトン
株式会社レゾナック・グラフィック・ジャパン
株式会社近藤紡績所 さくら不動産株式会社 信濃毎日新聞社 信越放送株式会社 株式会社テレビ信州 株式会社長野放送 長野朝日放送株式会社 ホクト株式会社

2024年6月時点

助成

公益財団法人
朝日新聞文化財団



協力



参画



Photo: Hirabayashi Takeshi, Hongo Tsuyoshi, Hosono Shinji, Isobe Akiko, Yu Wen-Fu



NORTHERN ALPS ART FESTIVAL

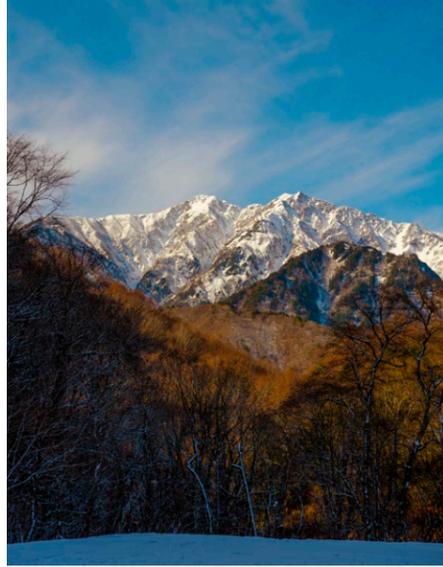
北アルプス国際芸術祭 2024

2024年9月13日(金) - 11月4日(月・祝) 会期中水曜定休 長野県大町市
September 13 - November 4, 2024 closed: Wednesday Omachi City, Nagano

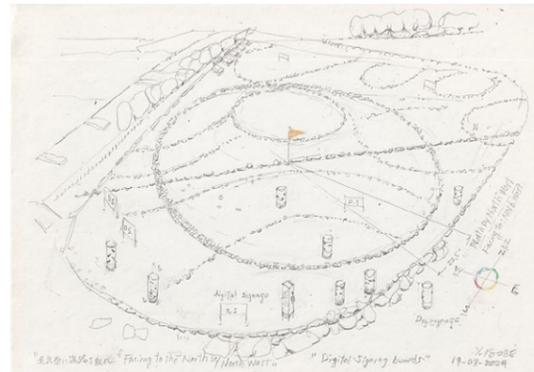
水・木・土・空 ~土地は気配であり、透明度であり、重さなのだ~

長野県大町市は、山からの急流と仁科三湖を抱く北アルプスと東山の丘陵に囲まれた田園地帯で、山の自然と人間の生活が浸透しあう美しい土地です。古くから神社や塩の道、近代では黒部ダムをはじめとする土木構築物を創り出し、土地に深く刻まれた人々の生活と歴史が今も鮮やかに残っています。進む清流、東西の樹種が混じる森林、岩盤の上の丘陵地、そこから見上げる世界とつながる高い空が大町の美しい空気を感じさせてくれます。世界各地のアーティストたちは土地の力と記憶に寄り添い、切れ味の鋭い作品を呈示してくれるでしょう。人と自然が織り成す清々しい秋の大町にぜひお越しください。

北アルプス国際芸術祭総合ディレクター 北川フラム



ダムエリア



磯辺行久《北北西に進路を取れ》
作品プラン



浅井裕介《土の泉》

11の国と地域から36組のアーティストによる
37作品が5つのエリアで展開

市街地エリア



ムルヤナ《居酒屋MOGUS》
作品イメージ



山本基《時に宿る》※参考作品(Salzkammergut-2024)



千田泰広《アフトリアル2》

仁科三湖エリア



アレクサンドラ・コヴァレヴァ&佐藤敬/KASA《水の記憶》
作品イメージ



ケイトリン・RC・ブラウン&ウェイン・ギャレット《ささきは嵐の目のなかに》
作品イメージ

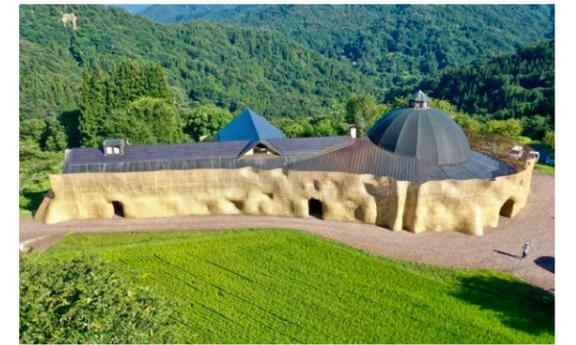


蠣崎誓《種の民話-たねのみんわ-》
作品イメージ

5つのエリア



東山エリア



ヨウ・ウェンフー《游文富》《竹の波》



目[mē]《Tangible Landscape》

源流エリア



松本秋則《アキノリウム in OMACHI》



ダナ・アワルタニ《道がぶつかる時》
作品イメージ



スクリプカリウ落合安奈《山の心音》
作品イメージ



鈴木理策《風の道 水の音》



エカテリーナ・ムロムツェワ《山のくちぶえ》
作品イメージ



ソ・ミンジョン《黒い跡》
作品イメージ

パフォーミングアーツ

芸術祭では音楽・演劇・ダンスなどのパフォーミングアーツも見どころのひとつ。今回は木崎湖キャンプ場、西山・八王子神社、爺ガ岳スキー場という特徴的なアートサイトで上演します。 予約・詳細は芸術祭公式HPやインフォメーションセンターでご確認ください。



アオイツキ(アオイヤマダ、高村月)
《ヒッチハイカー季節(冬)》
9/14(Sat)、9/15(Sun) 13:00-
◎木崎湖キャンプ場



Torus VII.(トラスヴィレツジ)
《NEO KAGURA》
10/4(Fri) 18:30-、10/5(Sat) 17:30-
◎西山・八王子神社



マームとジブシー《equal》
10/12(Sat) 18:00-、10/13(Sun)
14:00-、18:00-、10/14(Mon)
14:00- ◎爺ガ岳スキー場

作品鑑賞パスポート

芸術祭の会期中、すべての作品を鑑賞できるパスポートです。パスポート提示で、飲食店、宿泊施設、イベント割引など各種優待あり。



一般 3,000円(前売2,500円)

16-18歳 1,500円(前売1,000円)

15歳以下無料

オンライン購入はこちら



*2024年9月12日(木)までの販売は「前売」の価格となります。

参加作家(国と地域) (2024年8月現在 / 既存作品、継続展開を含む)

アオイツキ(日本)、浅井裕介(日本)、ダナ・アワルタニ(パレスチナ/サウジアラビア)、磯辺行久(日本)、小内光(日本)、蠣崎誓(日本)、アレクサンドラ・コヴァレヴァ & 佐藤敬/KASA(ロシア・日本)、マリア・フェルナンダ・カルドーゾ(コロンビア/オーストラリア)、川保正(日本/フランス)、北アルプス林研グループ(日本)、木村崇人(日本)、ポウラ・ニチョ・クメズ(グアテマラ)、イアン・ケア(イギリス)、小鷹拓郎(日本)、コタケマン(日本)、佐々木類(日本)、スクリプカリウ落合安奈(日本)、鈴木理策(日本)、ソ・ミンジョン(韓国)、千田泰広(日本)、Torus Vil.(日本)、平田五郎(日本)、布施知子(日本)、船川翔司(日本)、ケイトリン RC・ブラウン&ウェイン・ギャレット(カナダ)、マームとジブシー(日本)、松本秋則(日本)、宮山香里(日本/イタリア)、村上慧(日本)、ムルヤナ(インドネシア)、エカテリーナ・ムロムツェワ(ロシア/アメリカ)、目[mē](日本)、ルデル・モー(南アフリカ)、山本基(日本)、ヨウ・ウェンフー《游文富》(台湾)、ジミー・リャオ《幾米》(台湾)